



森脇 徹 議員

「いのちの水」の  
上水道行政に、福祉の  
水の位置づけを

問 上水道の引上げは、市民生活を困窮に追込まないか

答 県下他市との比較で、使用料金は県下平均を下回ります

問 今回の改定で、超過料金で

2か月11〜30m<sup>3</sup>の使用層は20円引上げ、大口使用の501m<sup>3</sup>以上は10円と引上げ率が低い。大口使用者ほど高くなる。今までの基本的な考えを変えたのか。

答 都市整備部長

今回の改定は、激変する料金を回避するもので、改定幅を縮めることにつながります。

問 日常生活で必須の上水道。

引上げは、市民生活を困窮に追い込まないか。料金引上げ実施まで3か月間しかないが、市民の納得が得られる情報開示と説明ができるか。

答 都市整備部長

県下他市との比較で、使用料金は県下平均を下回りません。広報たかしまやホームページで丁寧に周知します。

その他の質問

20年間におよぶ長期運営契約に課題はないか  
(新)み処理施設

市は、議会に上水道料金を15%引上げの条例案を提案している。

問 8年前の改定時に、基本水量2か月20m<sup>3</sup>を10m<sup>3</sup>に変えた。高齢等単身世帯が増えている。少量使用者に配慮した、今回の料金改定となっているか。

答 都市整備部長

10m<sup>3</sup>未満は5248件と増えています。今回の改定は安全安定の水道水供給へ、老朽化管路の更新の課題などに対処するものです。

「いのちの水」の  
上水道行政に、福祉の  
水の位置づけを

問 基本料金と超過料金の改定案だ。超過料金区分を5段階から4段階にする案で11〜30m<sup>3</sup>区分がなくなり、2か月20〜60m<sup>3</sup>の一般家庭の引上げ率が最も高い。負担増を見直す協議はなかったのか。

答 都市整備部長

(公社)日本水道協会の水道料金算定要領には、超過料金は均一料金制を目指すとしています。市は、段階性を維持し激変を回避するため、5段階を4段階に変更します。

問 前回改定時に、基本料金は口径で料金体系を決めるとして「一度に多くの水を使える大口ほど費用負担を高くする」とした基本的考えは、今回の改定でも準じるのか。

答 都市整備部長

今回の改定では、前回の改定とは違い、現状料金を改定するところからです。



20年間におよぶ長期運営契約に課題はないか  
(新)み処理施設